

取付説明書



アルパイン 静粛性向上シート KTX-DCG34

車種	年式	型式
エクストレイル	R3/7～現在	T32

令和4年7月現在のもので、7月以降の車両は変更されている場合があります。

ここでの説明は、車両部品の取り外し、製品の取り付けの説明に限らせていただきます。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1 目次

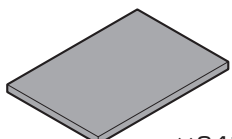
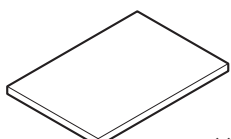
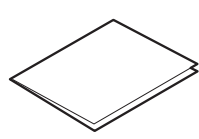
1. 目次	1
2. 必要工具	1
3. 構成部品	1
4. 取り付け上の注意事項	2
5. 共通取付要領	3
6. 車種別取付要領	4
1. 車両部品の取り外し	4
2. 静粛性向上シート/吸音シートの貼り付け	5
3. 車両部品の復元/動作確認	29

2 必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、トルクスレンチ (T20)、クリップはずし、定規、カッターナイフ、マスキングテープ、ウエス、脱脂剤 (中性洗剤等)

3 構成部品

■静粛性向上シート (KTX-DCG34)


①静粛性向上シート (230×300mm)	②吸音シート (200×300mm)	③共通取付説明書
 ×34※	 ×5	 ×1

※実際に使用する静粛性向上シートは 28 枚です。

4

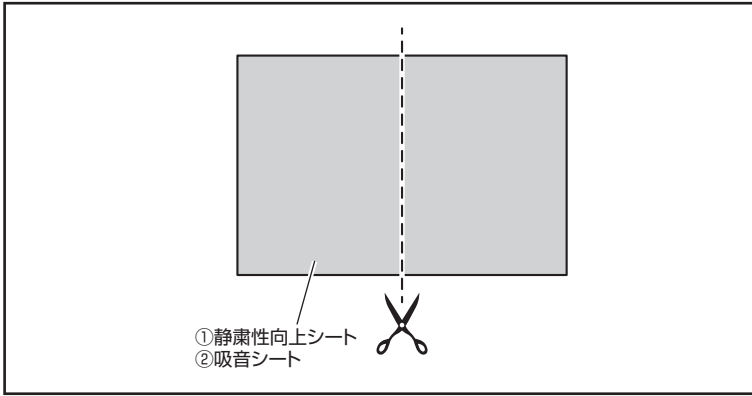
取り付け上の注意事項

- ・ 本製品は、最初の取付けの良否がその後の性能、耐久性および、不具合の有無に大きく影響します。作業を始める前に以下の注意事項をよくお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
- ・ 記載事項を守らなかったためまたは、設定以外の車両に取付けたために発生した不具合および、事故等については責任を負いかねます。
- ・ 本文中の表示記号と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから作業を始めてください。

 危険	安全のため必ず守っていただくこと。 生命の危機または、重大な損害につながる恐れがあります。	 注意	製品使用上、製品取付上必ず守っていただくこと。 傷害や製品性能の低下および、物的損害につながる恐れがあります。
 危険			
	取付作業は、雨等の心配のない十分な広さを持った屋内等で行ってください。その場合、換気を確実にし排気ガスの充満には充分注意してください。		取付作業中は、バッテリーのマイナス端子を外して行ってください。エアバッグ付き車両は、整備要領書の指示に従ってください。
	他部品（特に裏側にある部品）の位置を確認の上、ドリルの刃や取付用のスクリュー等が干渉しないように注意して行ってください。ドリル加工時は、保護メガネを着用して作業を行ってください。		締付けトルクの指示のある部位は、規定トルクで確実に締付けてください。
	部品の取付けや外した車両部品を取付ける際は、配線を引っ掛けたり、挟まさないでください。		ハーネス配索は、ハーネスバンド等を使用して、他部品との干渉等がないよう固定してください。また、余分なハーネスバンドは切取って、切断面が周辺部品と干渉しないことを確認してください。（特に走行・制動に関係する機器等に干渉すると危険です。）
<p>● SRS エアバッグ(プリテンショナーシートベルト等を含む)装着車に取付ける際の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアバッグシステムおよびハーネスは、ステアリングコラム、インストルメントパネル、センターコンソール、フロントおよびセンターピラー、ルーフ、エンジンルーム等に配置・配索されています。これらの部分に關係して作業する時は、下記項目、部品等に貼付けられたコーションラベル、整備要領書の注意事項を必ず守って行ってください。 ① エアバッグ用のコネクターは、基本的に外さないでください。 ② エアバッグ用のハーネスには、ディーラーオプションのユニット、ハーネス等の固定はしないでください。 ③ エアバッグ用のユニット等の固定ボルトを使って、アース端子、部品、ブラケット等を共締めしないでください。 ④ エアバッグに關係する回路に割込む場合、必ずエアバッグ専用側でなく車両側ハーネスで行ってください。 ⑤ エアバッグに關係する回路をチェックする場合、原則としてサーキットテスター等は使用しないでください。 <p>それぞれのチェック方法は、整備要領書に従い行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両復元後、エアバッグインジケーターが異常を表示した場合は、整備要領書のエアバッグの項目に従い点検を行ってください。 			
 注意			
	車両をジャッキアップする場合は、必ず平らな場所で作業し、輪留め等の処理を行ってください。		車両部品を取外す場合や復元する場合には、整備要領書を参照して作業してください。
	車両から取外したクリップ、スクリュー等は、復元時に間違えないようにしてください。		テープおよび、両面テープ等で取付ける箇所は、汚れ、油等を完全に除去してください。
	車両に傷や汚れなどが付かないように、ボディの傷付け防止および、車室内には保護カバー等を使用して作業を行ってください。		ハーネスを強く引っ張らないでください。
	コネクターを外す際は、ハーネスを引っ張らずコネクター本体を持ってロックを外してください。コネクターのロックは、ドライバー等でこじって破壊しないでください。		オプションのアース端子を車両アース端子へ共締めする際は、別途指示がある場合を除き、ボルト、車両アース、オプションアース、ボディパネルの順に取付けを行ってください。
	配線、ギボシ、コネクター等の接続は、確実に行ってください。		製品の汚れは、スポンジ等に中性洗剤を付けて落としてください。シンナー等の有機溶剤、酸、アルカリ等の使用は絶対に避けてください。
	ハーネス配索後・復元前に取り付けした部品の作動チェックを行ってください。誤配索の防止になります。		車両電装品が正常に作動するか確認を行ってください。またラジオなどの電装品のメモリーを控えておいてください。取り付け後の復元チェック時のトラブル防止になります。

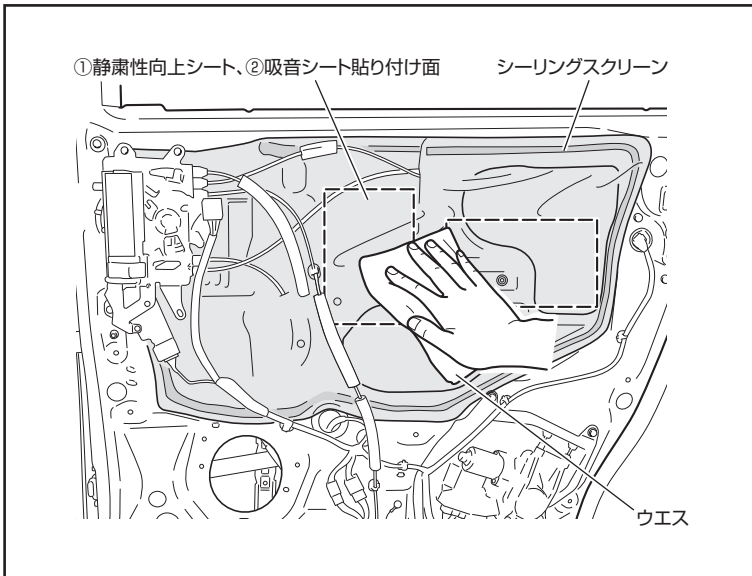
5

共通取付要領



■静粛性向上シート、吸音シートの貼り付け

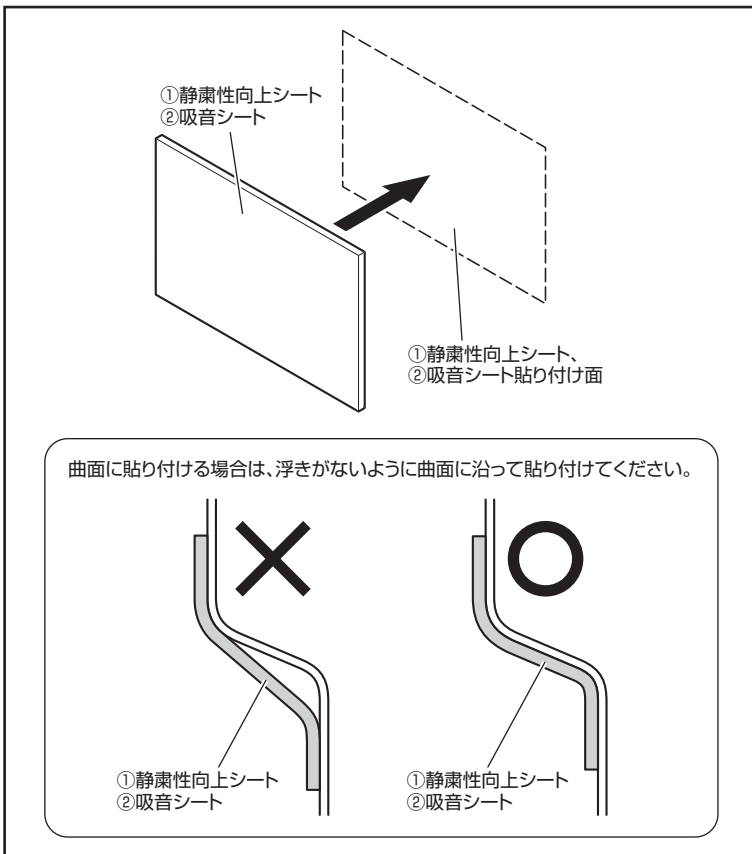
1. ①静粛性向上シートと②吸音シートを車種別取付要領に記載の寸法にはさみでカットします。



2. ①静粛性向上シートと②吸音シート貼り付け面の油分や汚れをウェス等で拭いてしっかりと落とします。

⚠ 注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。

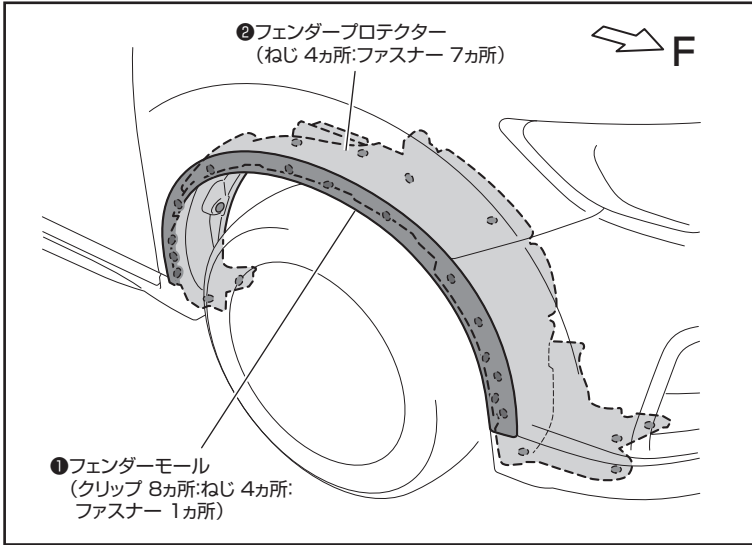


3. ①静粛性向上シートと②吸音シートを車種別取付要領に記載の位置に貼り付けます。

⚠ 注意

- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ①静粛性向上シートと②吸音シートは貼り付け面にしっかり密着させてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。

1. 車両部品の取り外し



■フェンダープロテクター

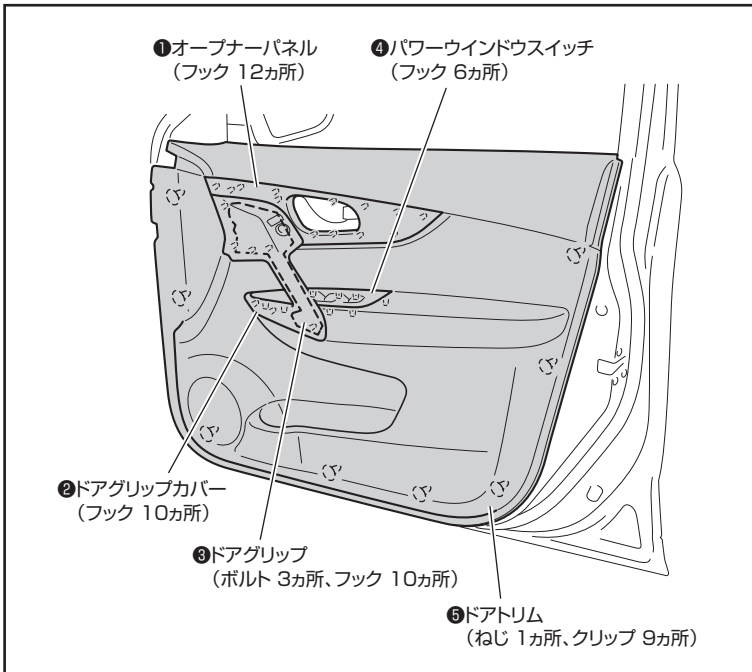
1. 左図を参照して車両部品を外します。反対側も同様に
取り外してください。



- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじなどの紛失にご注意ください。



- Memo**
- 各クリップ取り外しには、クリップは
しを使用します。



■フロントドアトリム

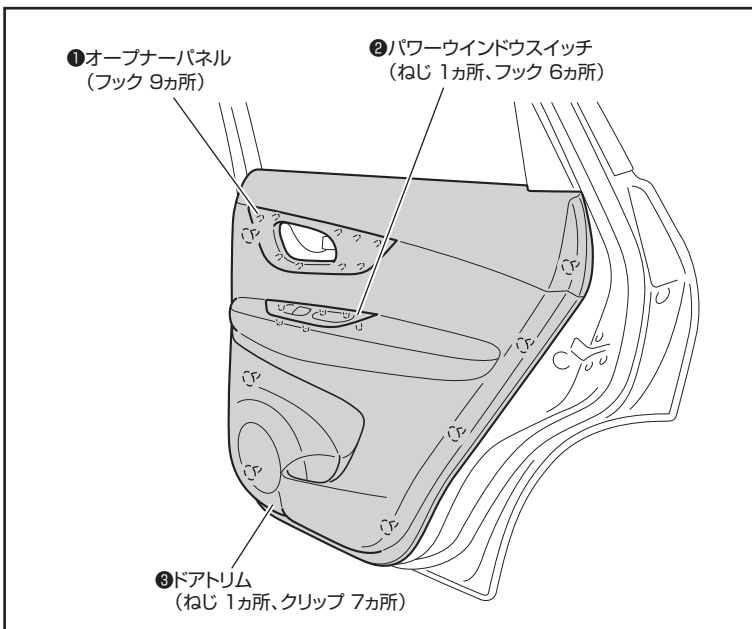
1. 左図を参照して車両部品を外します。反対側も同様に
取り外してください。



- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。



- Memo**
- 各クリップ取り外しには、クリップは
しを使用します。



■リアドアトリム

1. 左図を参照して車両部品を外します。反対側も同様に
取り外してください。



- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。



- Memo**
- 各クリップ取り外しには、クリップは
しを使用します。

2. 静粛性向上シート/吸音シートの貼り付け

■フェンダープロテクターRHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、フェンダープロテクターRH用の①静粛性向上シートを準備します。


<フェンダープロテクターRH用>


A-1 150×100	A-3 70×110		A-6 50×90		
	A-4 30×50	A-5 30×60	A-7 50×90		
		A-8 50×70	A-9 50×80		
A-2 80×100	A-10 50×40	A-11 50×40	A-12 50×40	A-13 60×50	A-14 60×50
	A-15 20×60		A-16 20×140		
	60×30				

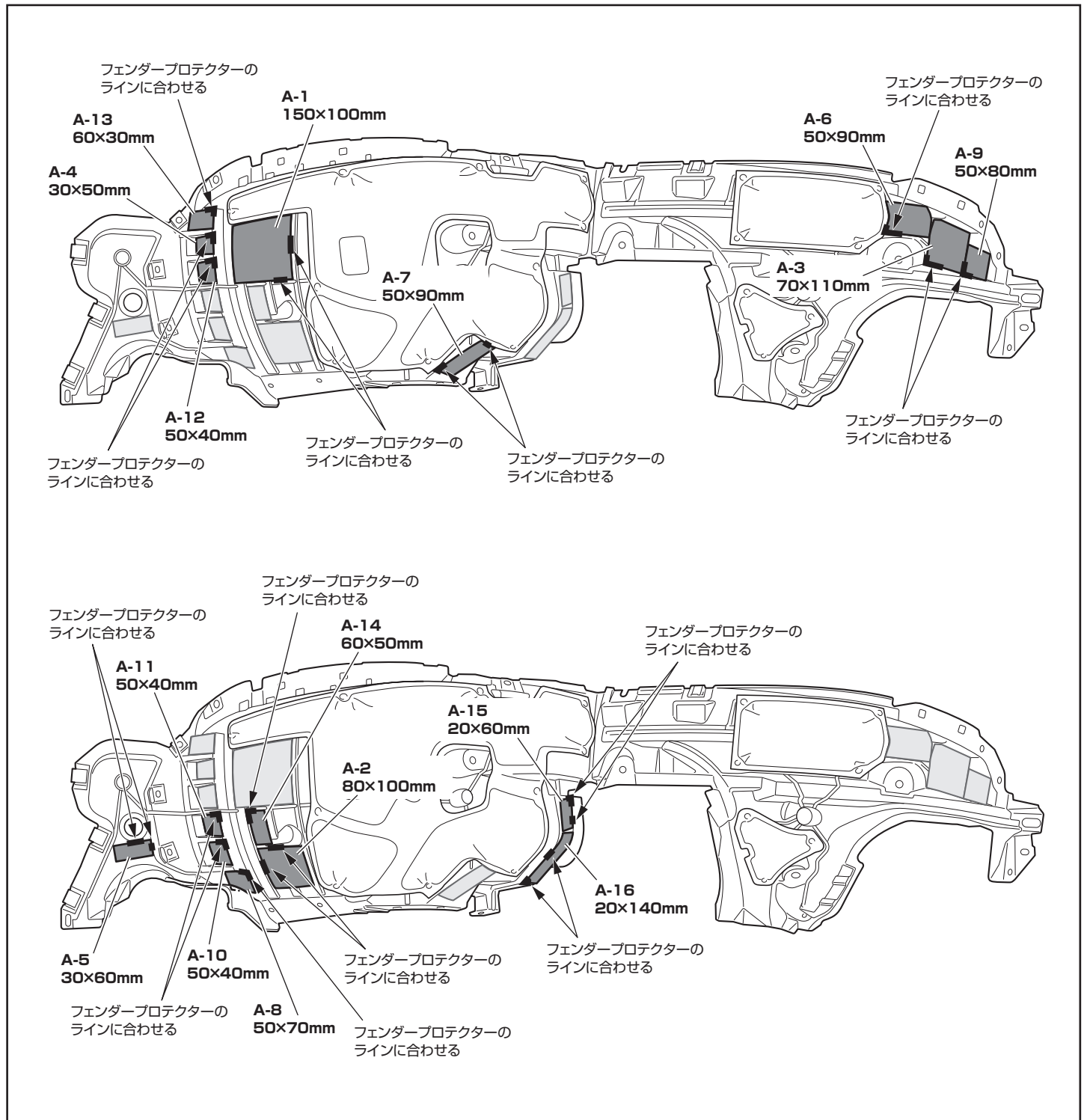
[単位 : mm]

2. 下図を参照してフェンダープロテクターRHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。 ● ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。 ● クリップ穴やワイヤー部、シンサレートには貼り付けしないでください。
---	---

 Memo	<ul style="list-style-type: none"> ● 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。 ● ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。
---	---



■フェンダープロテクターLHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、フェンダープロテクターLH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. 下図を参照してフェンダープロテクターLHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

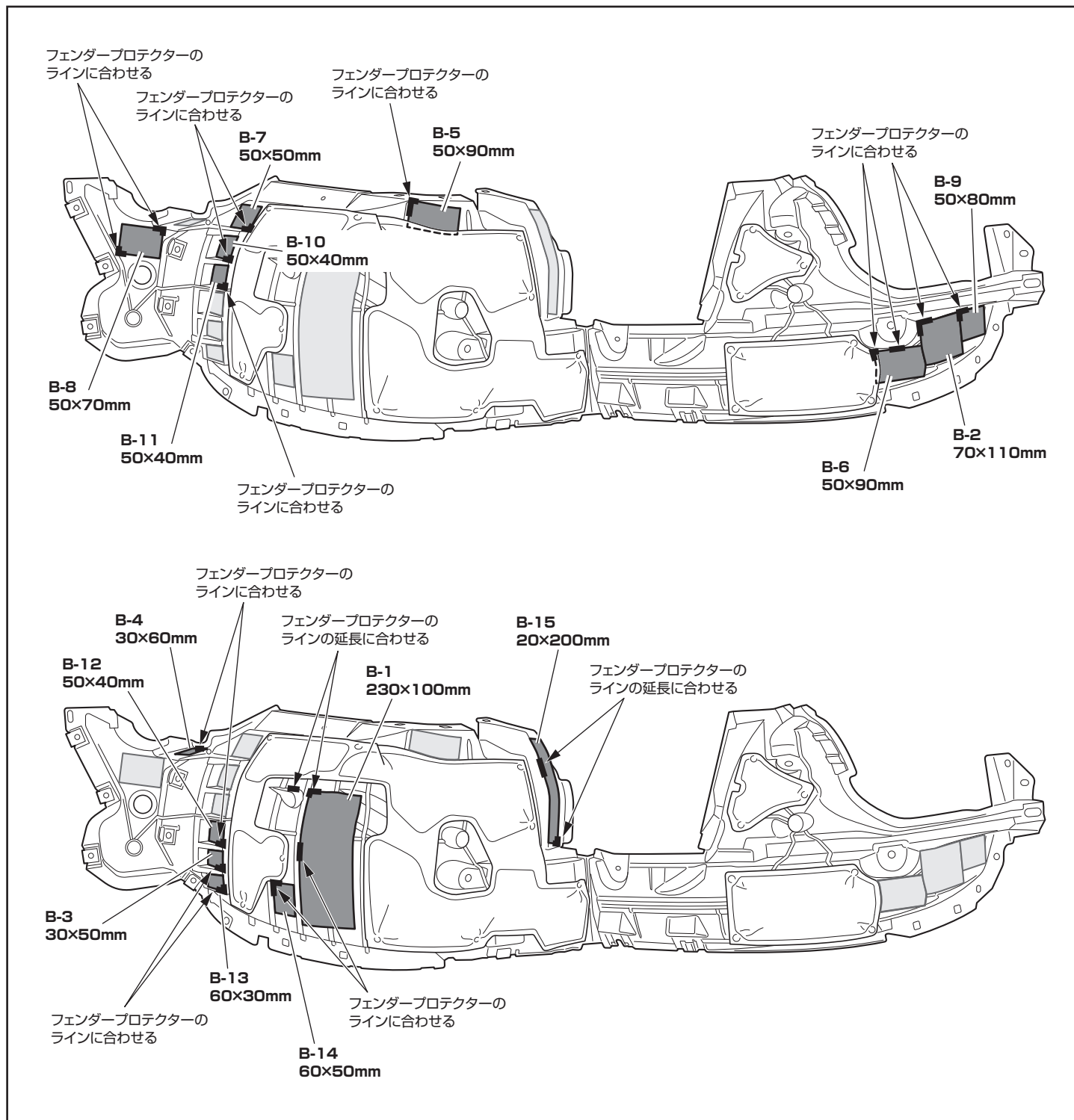
※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサレートには貼り付けしないでください。

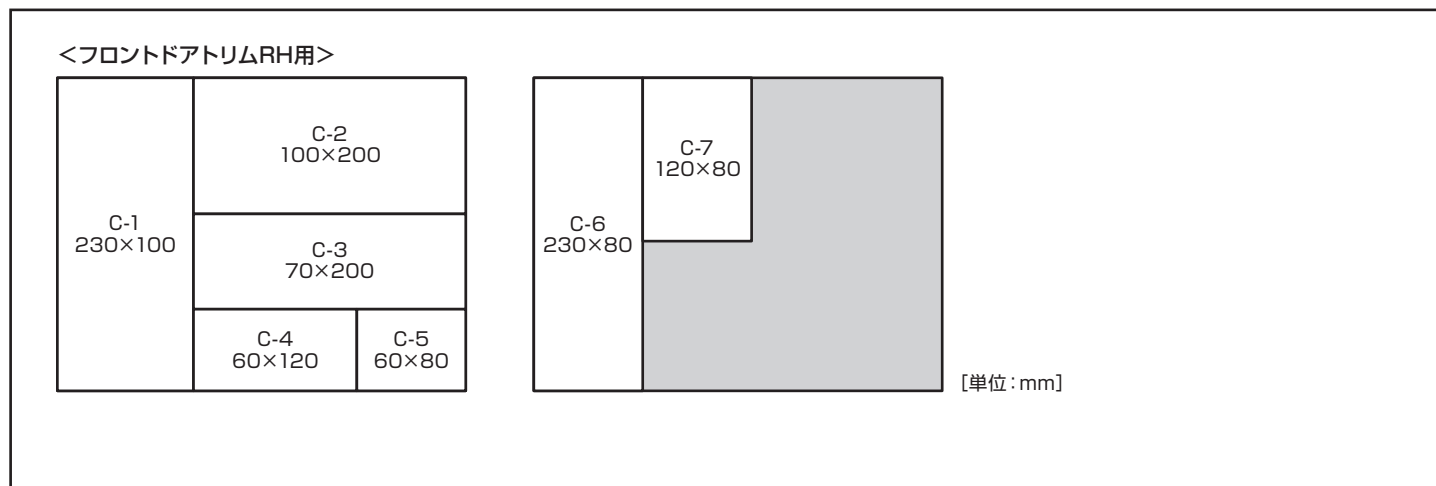


- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。



■フロントドアトリムRHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、フロントドアトリムRH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. 下図を参照してフロントドアトリムRHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

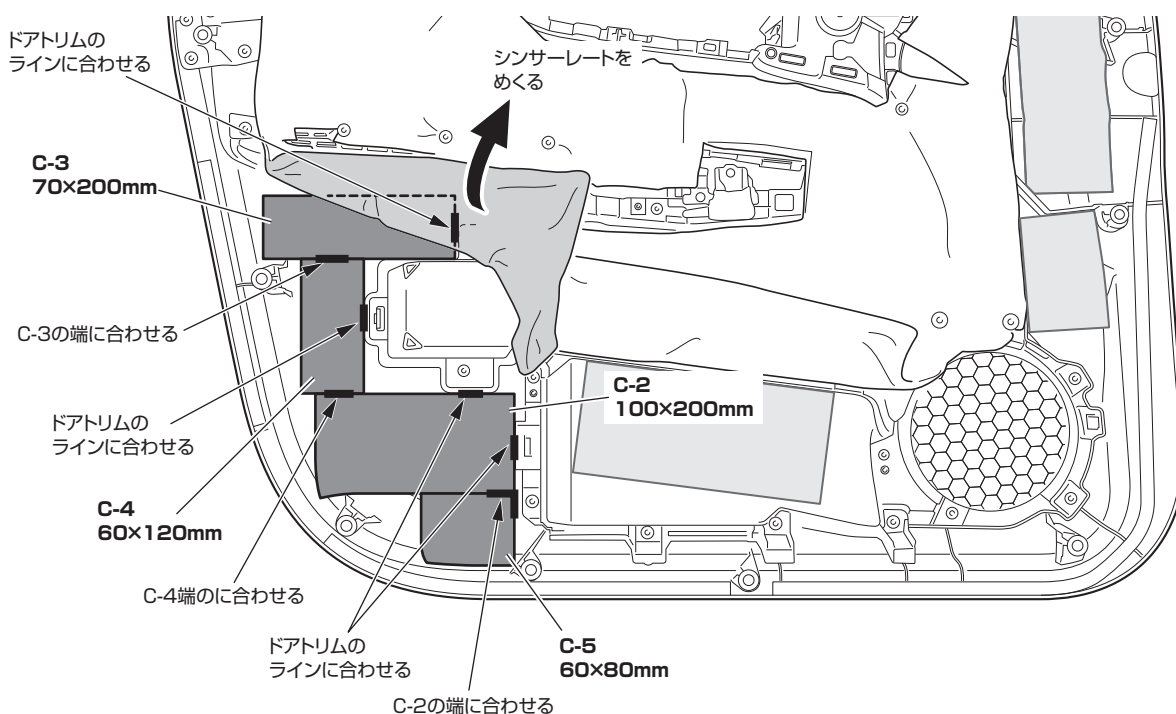
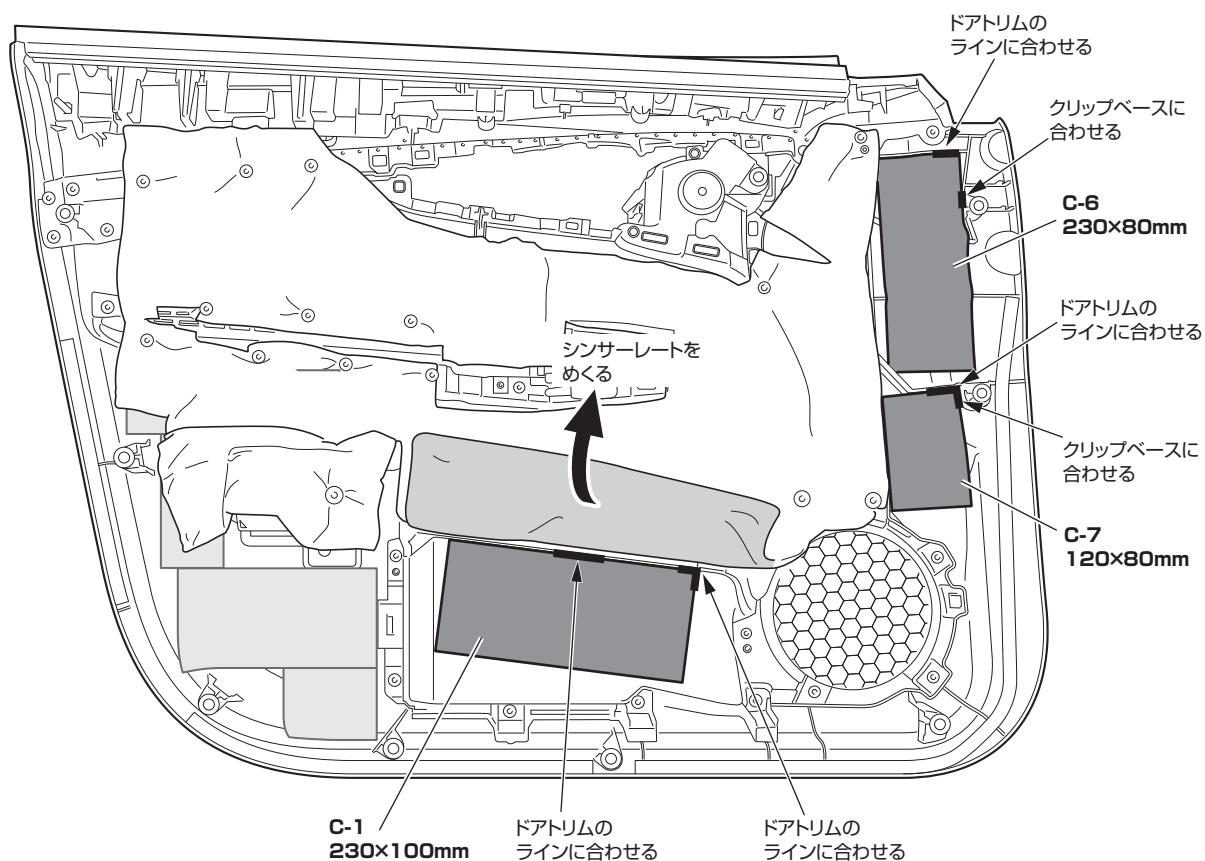
※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサーレートには貼り付けないでください。

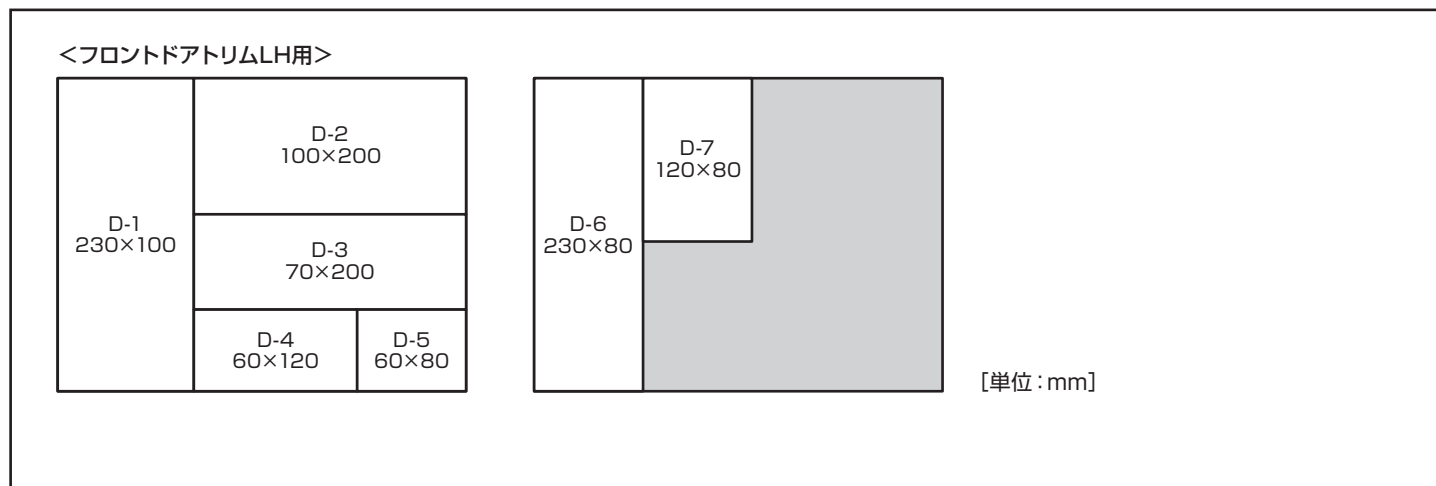


- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。



■フロントドアトリムLHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、フロントドアトリムLH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. 下図を参照してフロントドアトリムLHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

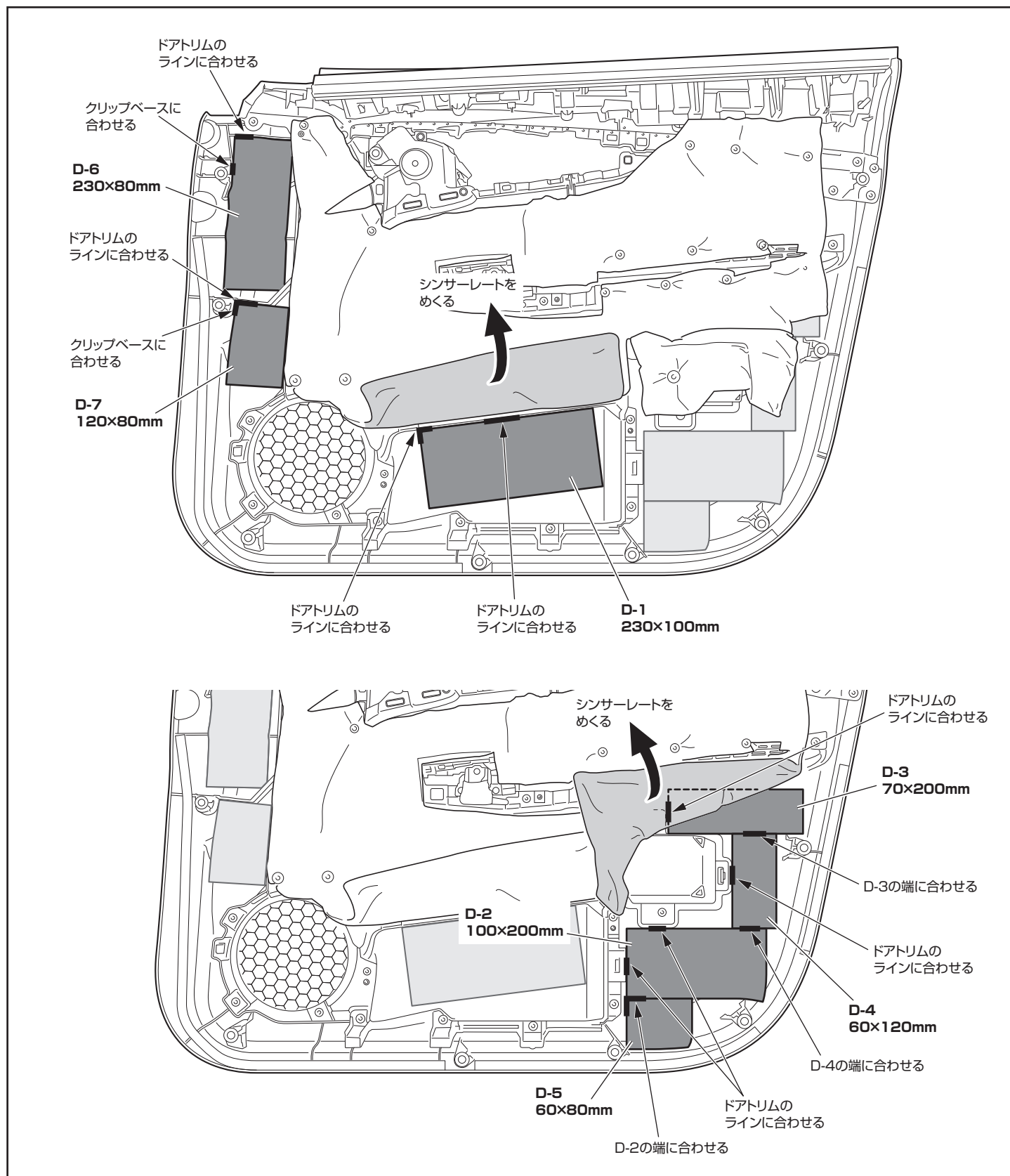
※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



- 注意**
- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
 - ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
 - クリップ穴やワイヤー部、シンサーレートには貼り付けないでください。

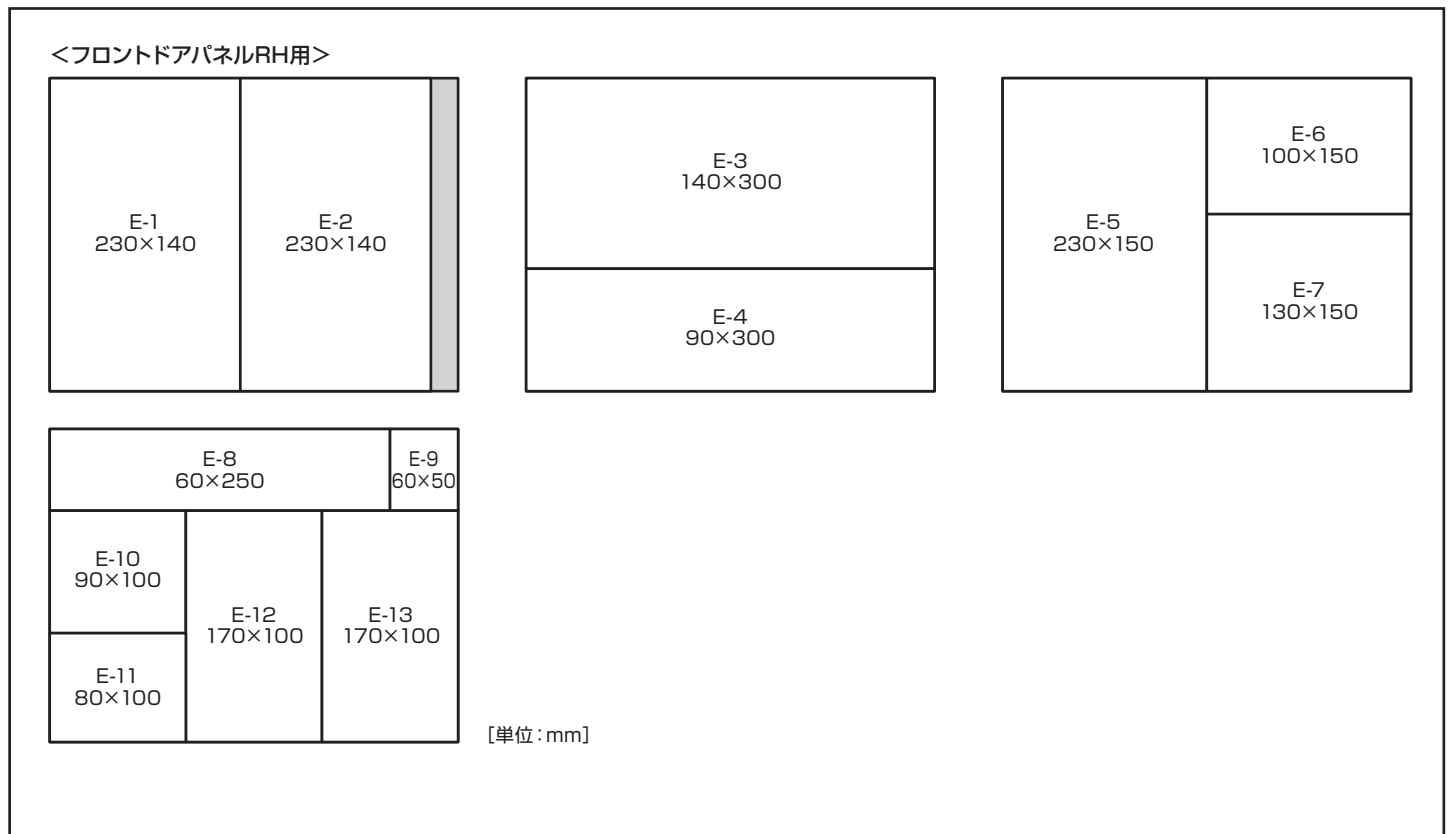


- Memo**
- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
 - ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。

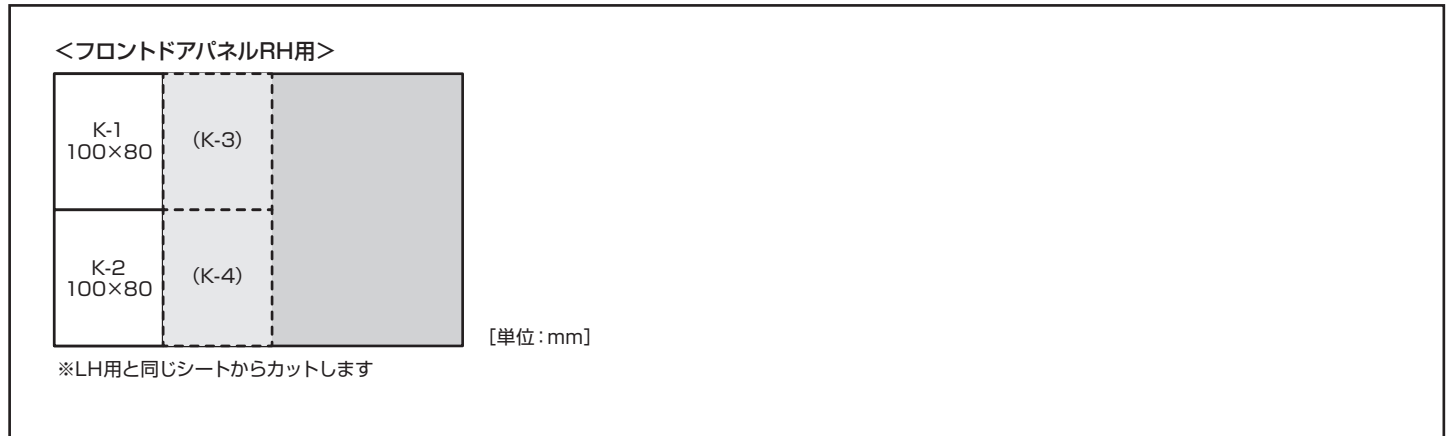


■フロントドアパネルRHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、フロントドアパネルRH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. ②吸音シートを下图に従ってカットして、フロントドアパネルRH用の②吸音シートを準備します。



3. 下図を参照してフロントドアパネルRHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



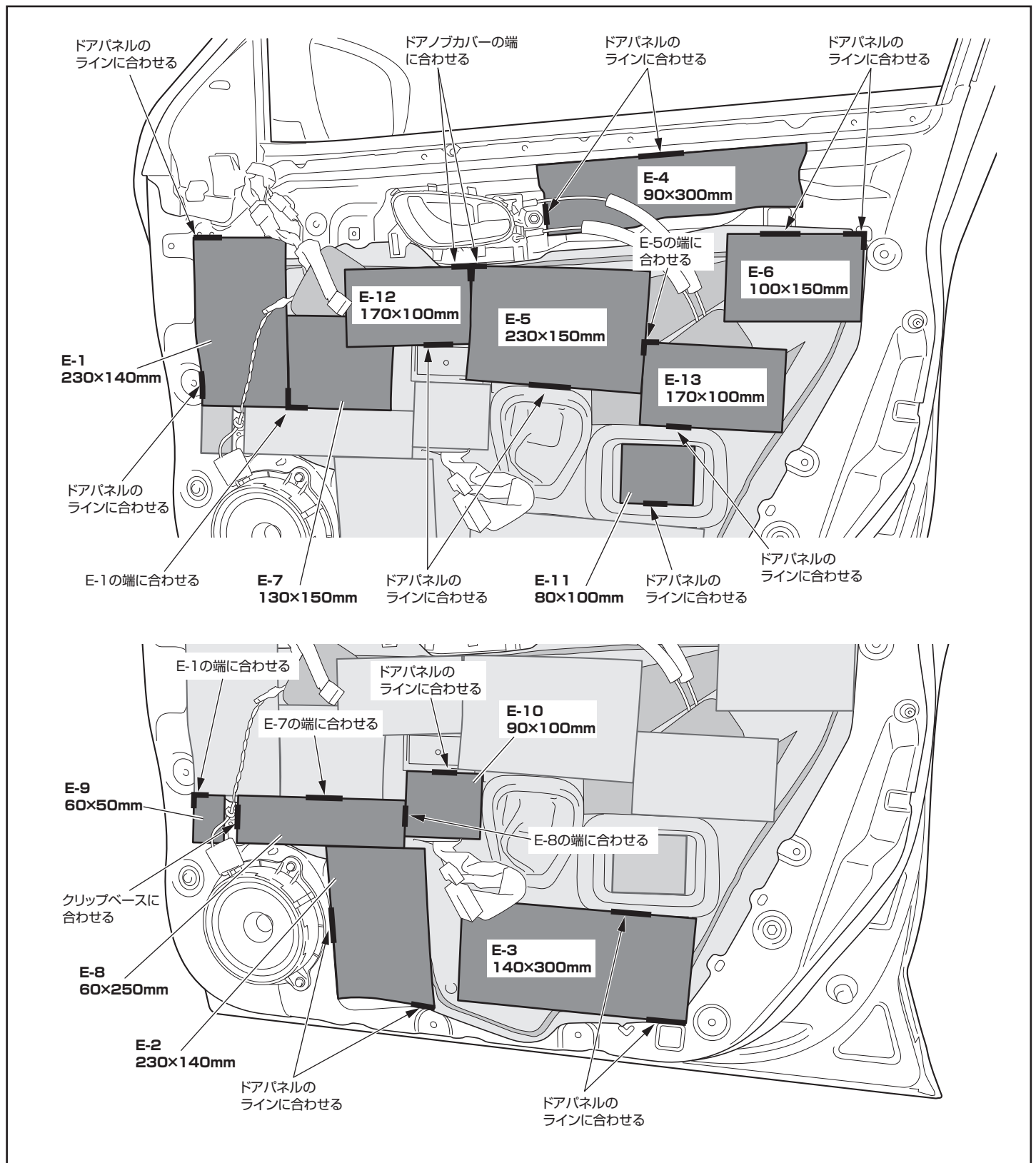
注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサレートには貼り付けしないでください。



Memo

- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。

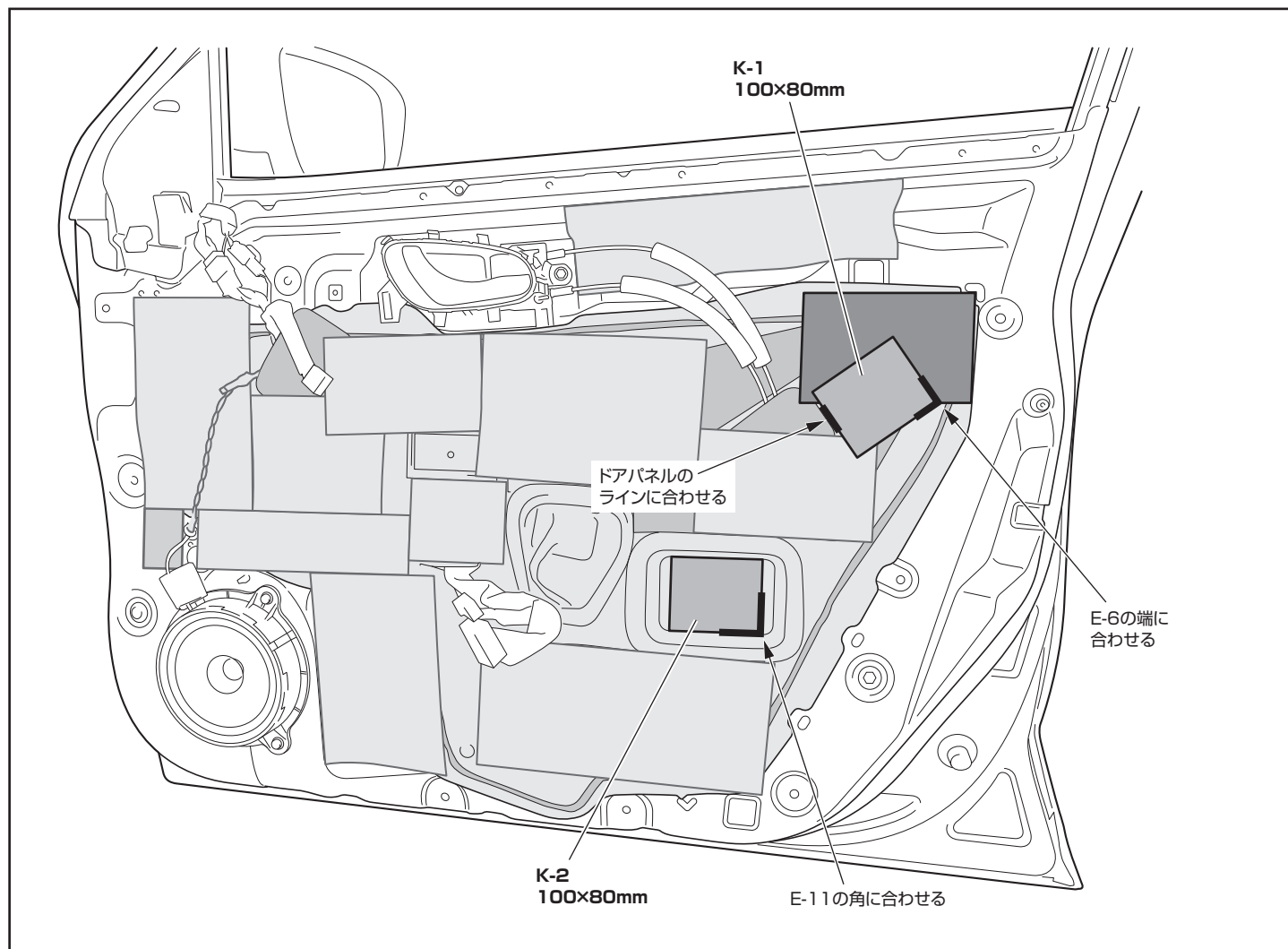


4. 下図を参照してフロントドアパネルRHに②吸音シートを貼り付けます。



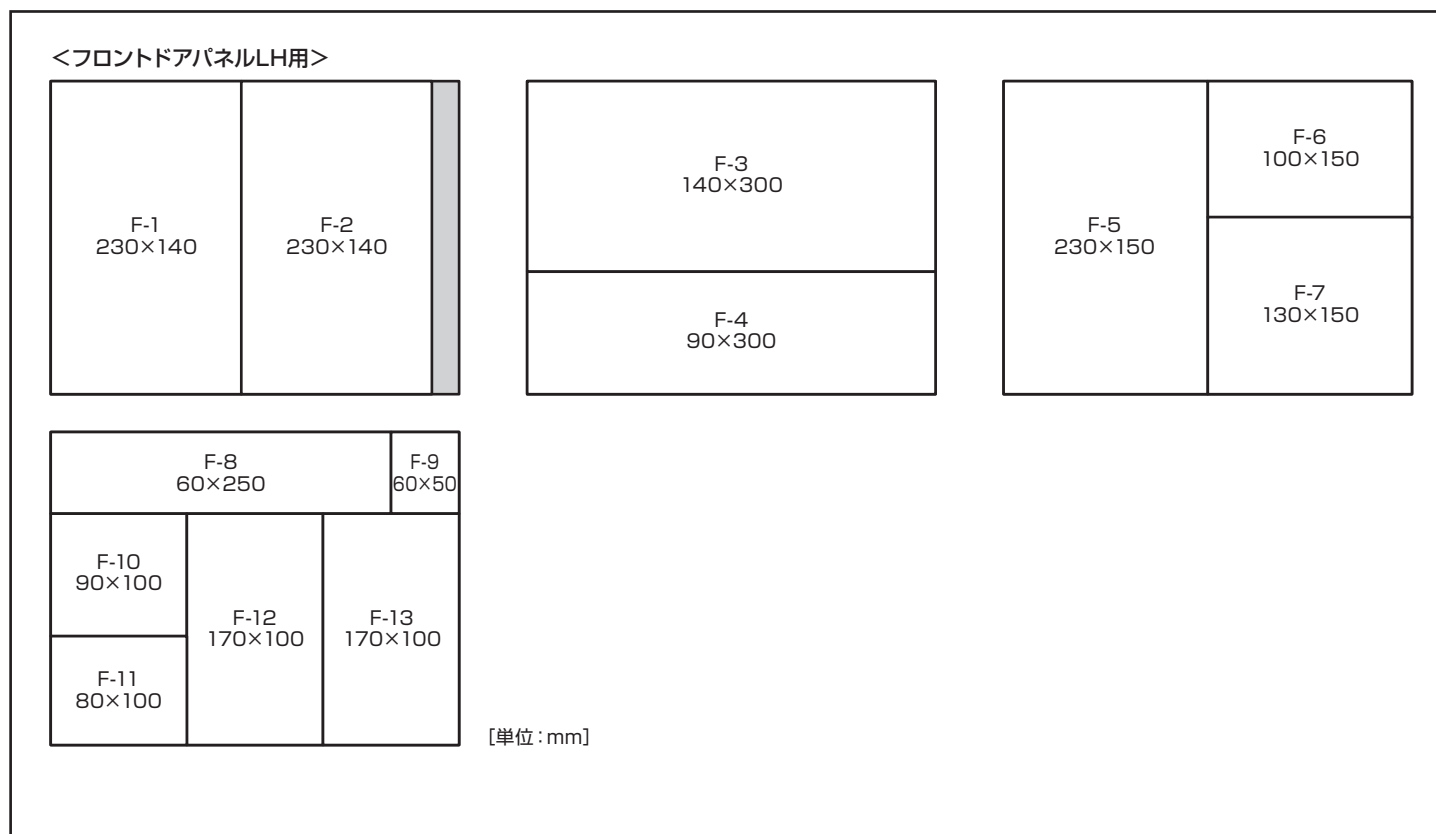
注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ②吸音シートは貼り付け面にしっかり密着させてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。

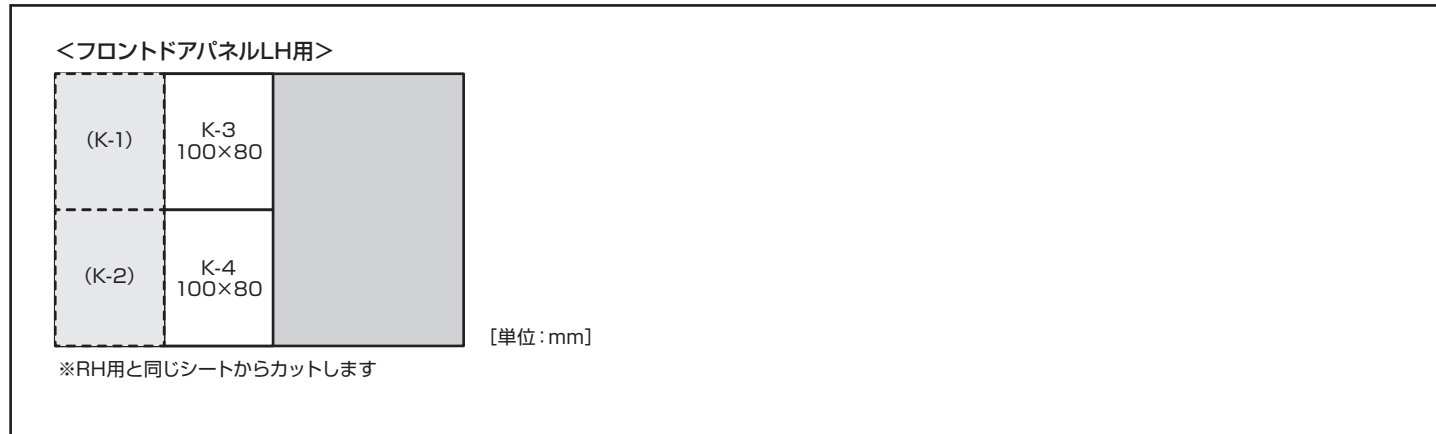


■フロントドアパネルLHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、フロントドアパネルLH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. ②吸音シートを下图に従ってカットして、フロントドアパネルLH用の②吸音シートを準備します。



3. 下図を参照してフロントドアパネルLHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



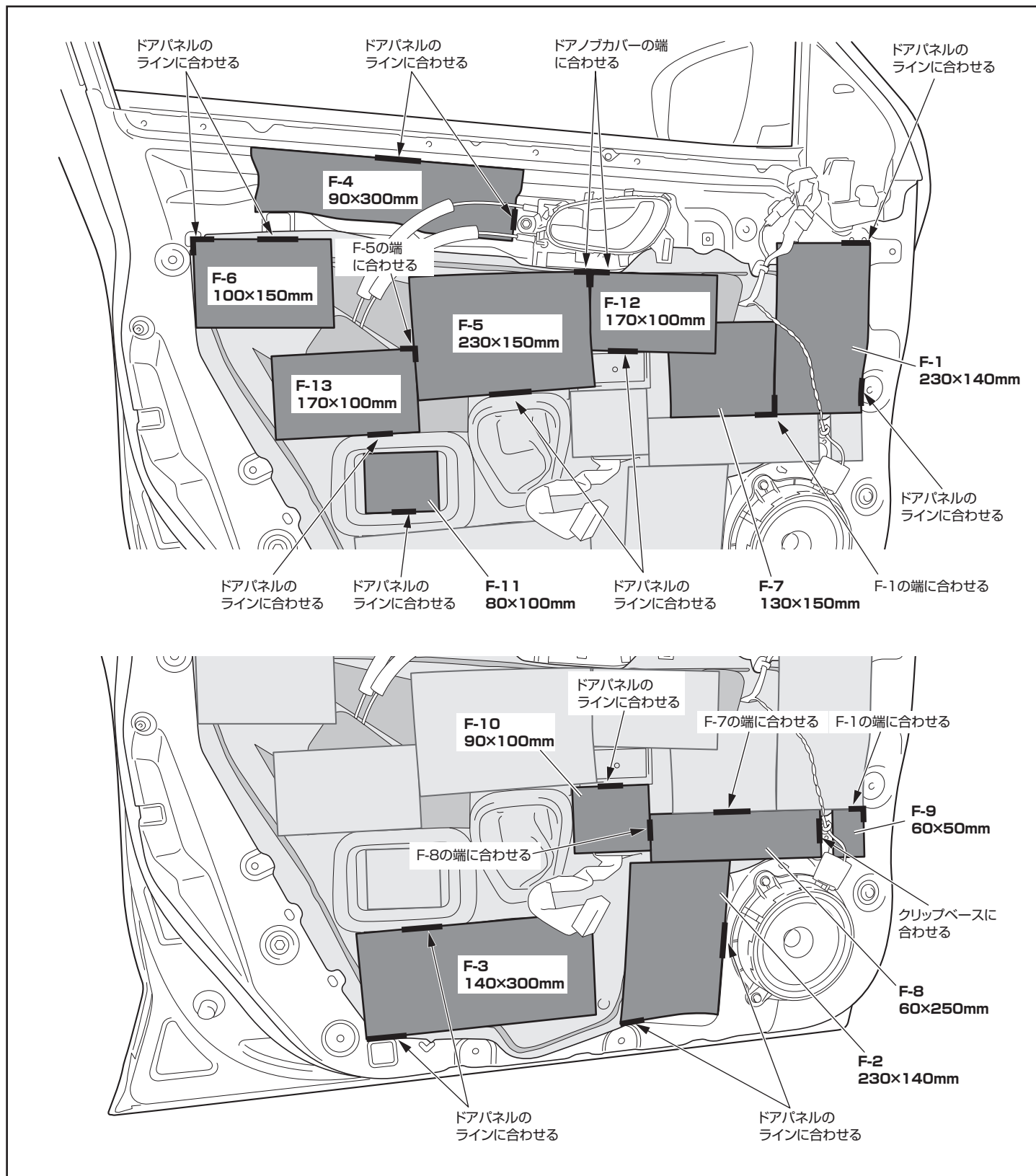
注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサレートには貼り付けないでください。



Memo

- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。

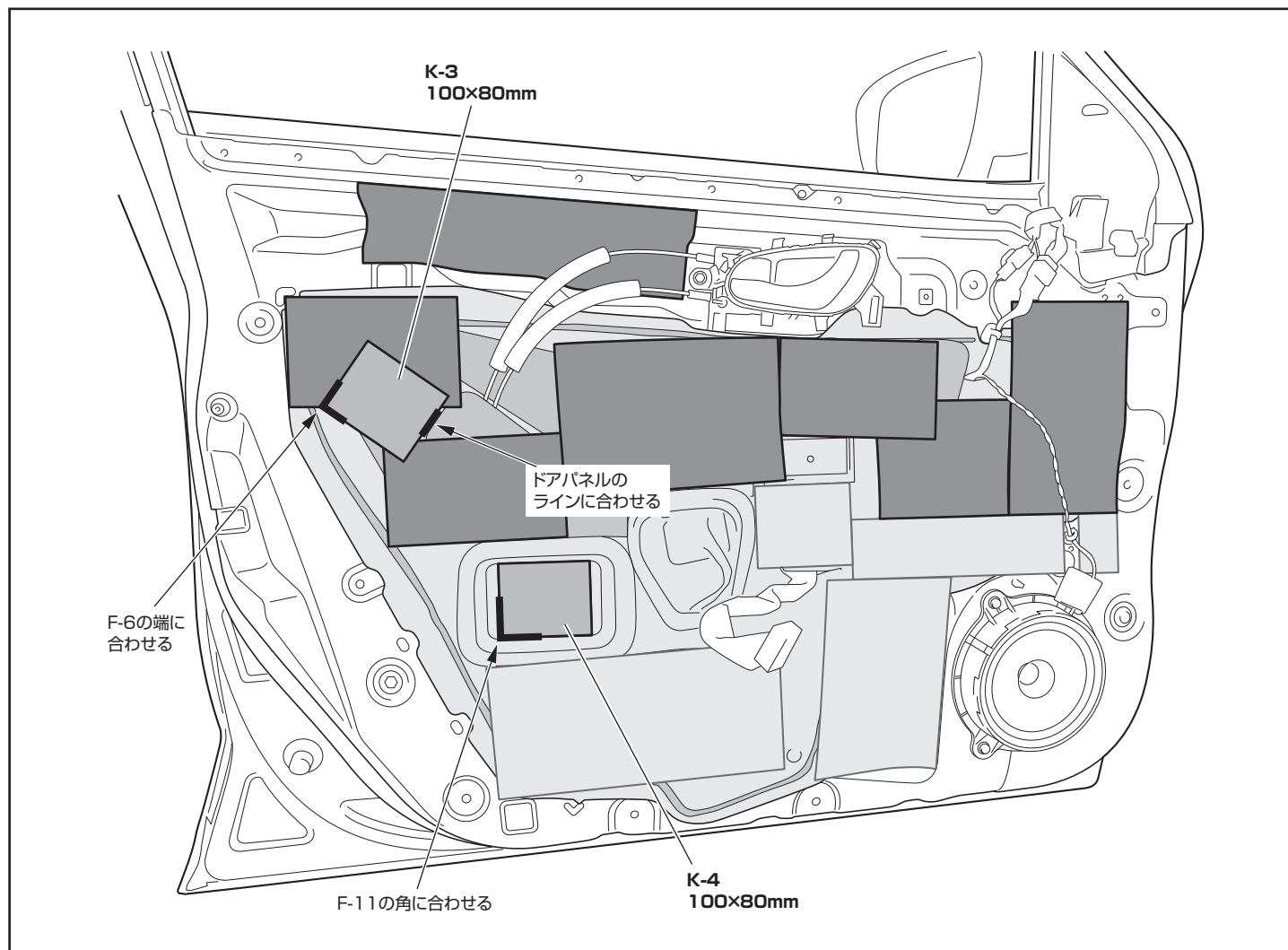


4. 下図を参照してフロントドアパネルLHに②吸音シートを貼り付けます。



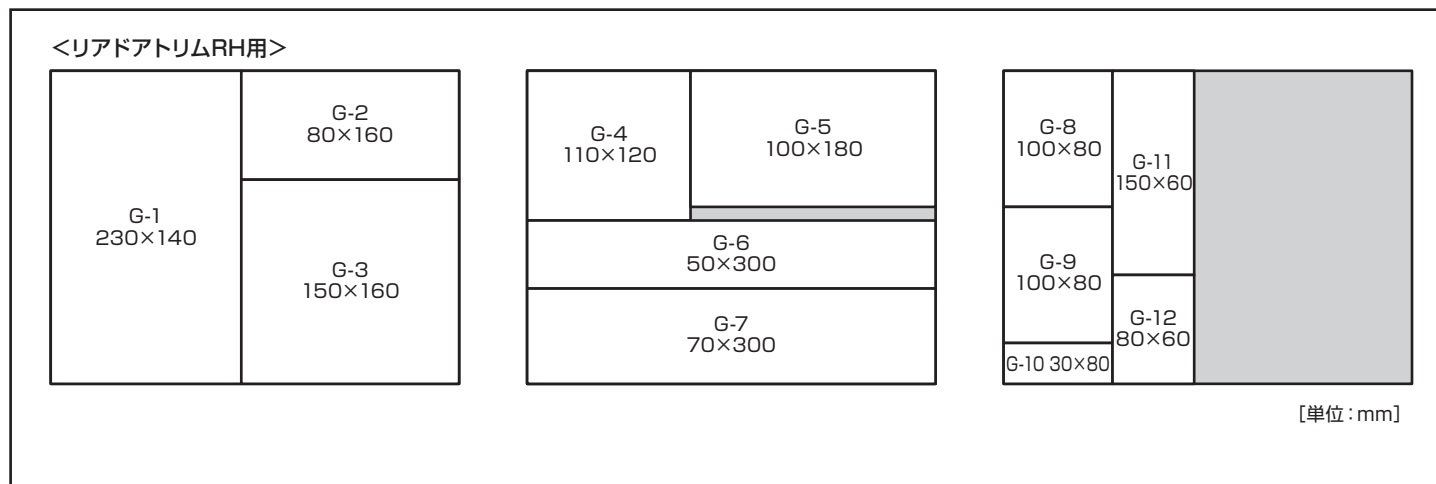
注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ②吸音シートは貼り付け面にしっかり密着させてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。



■リアドアトリムRHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下図に従ってカットして、リアドアトリムRH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. 下図を参照してリアドアトリムRHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

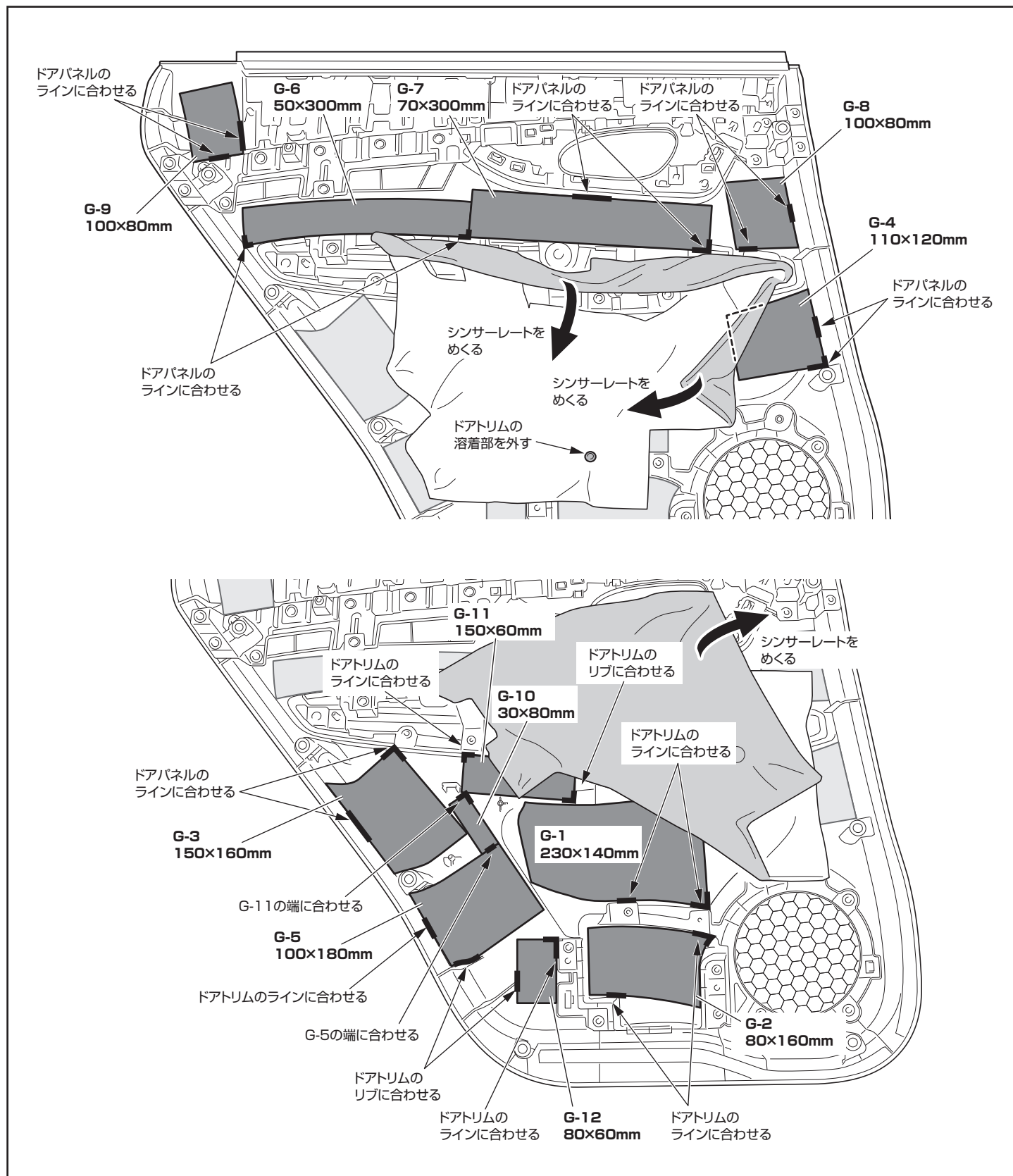
※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサーレートには貼り付けしないでください。

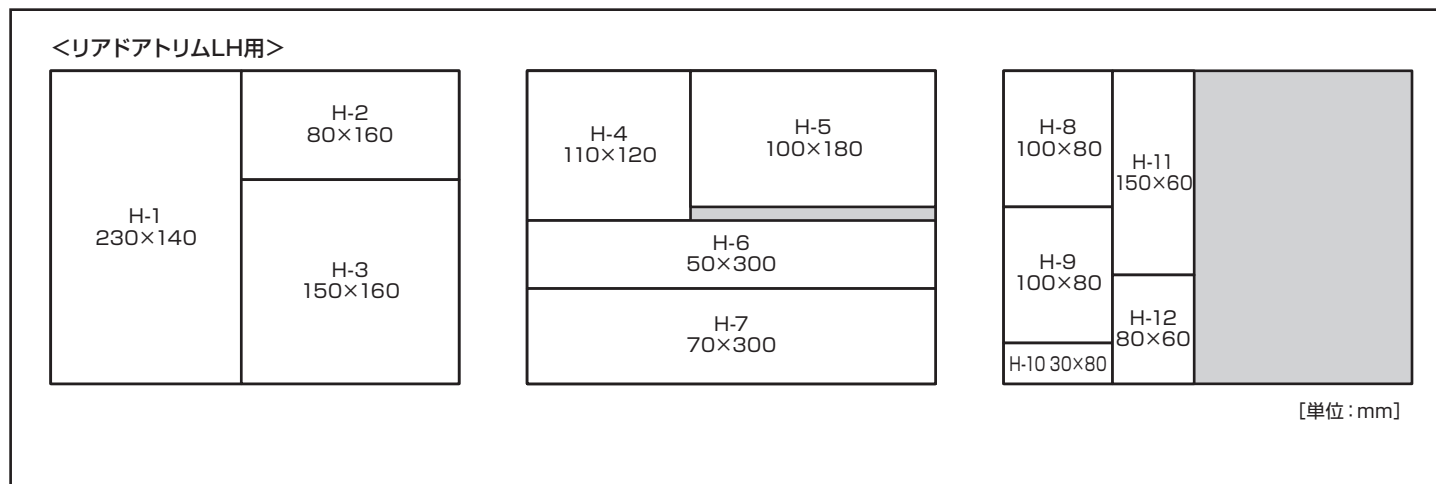


- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。



■リアドアトリムLHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下図に従ってカットして、リアドアトリムLH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. 下図を参照してリアドアトリムLHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

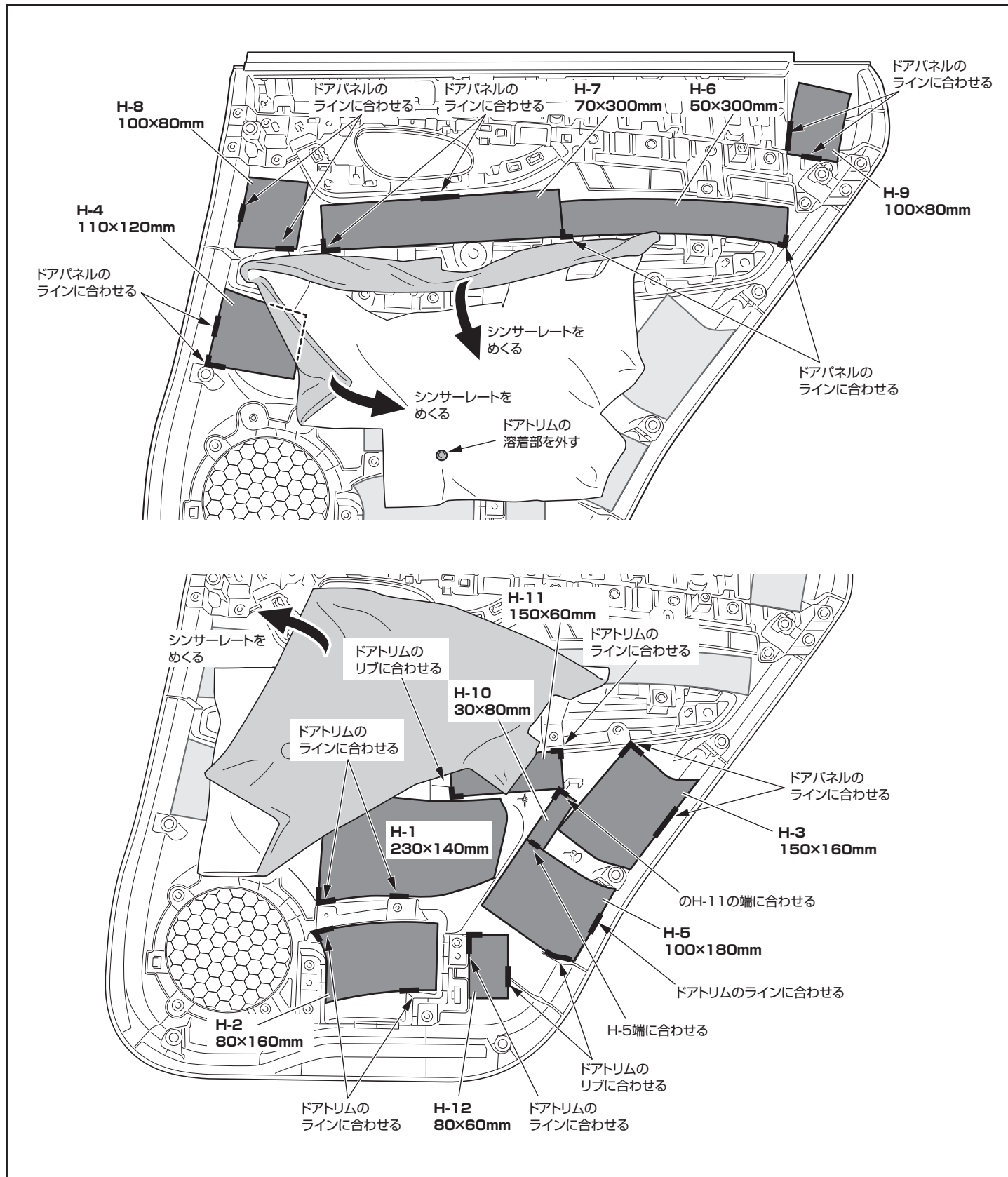
※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサーレートには貼り付けしないでください。

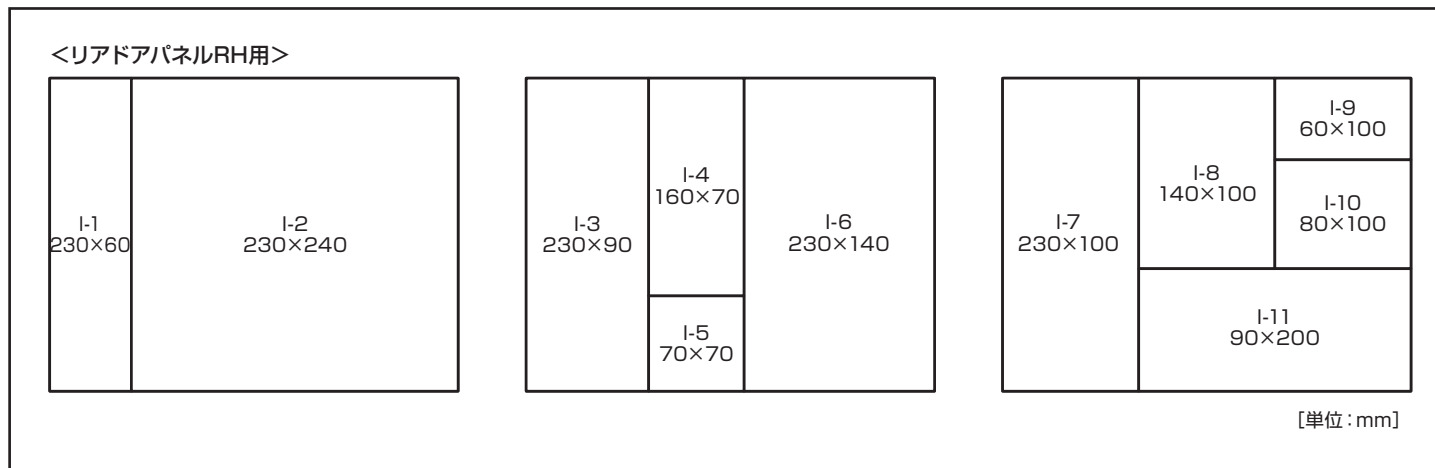


- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。

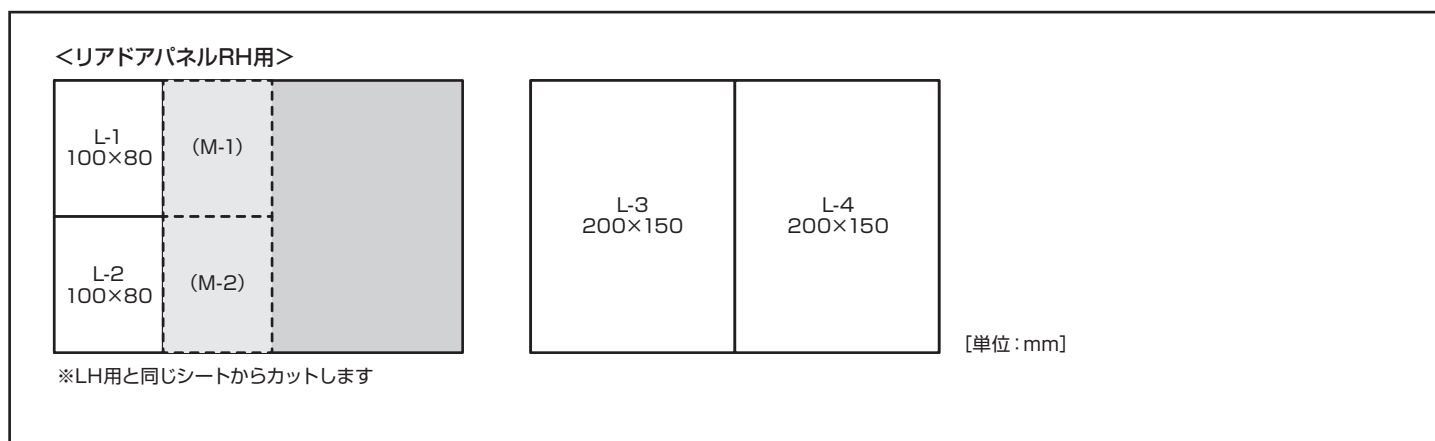


■リアドアパネルRHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下図に従ってカットして、リアドアパネルRH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. ②吸音シートを下図に従ってカットして、リアドアパネルRH用の②吸音シートを準備します。



3. 下図を参照してリアドアパネルRHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



注意

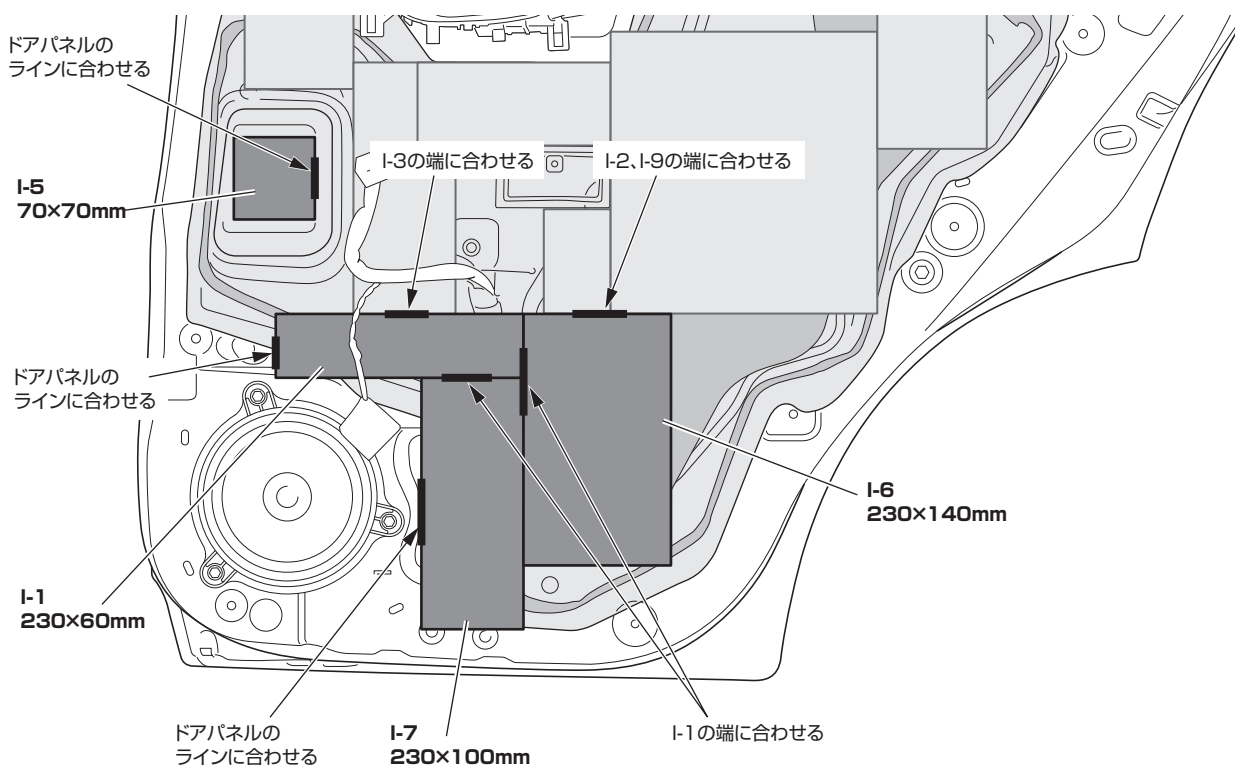
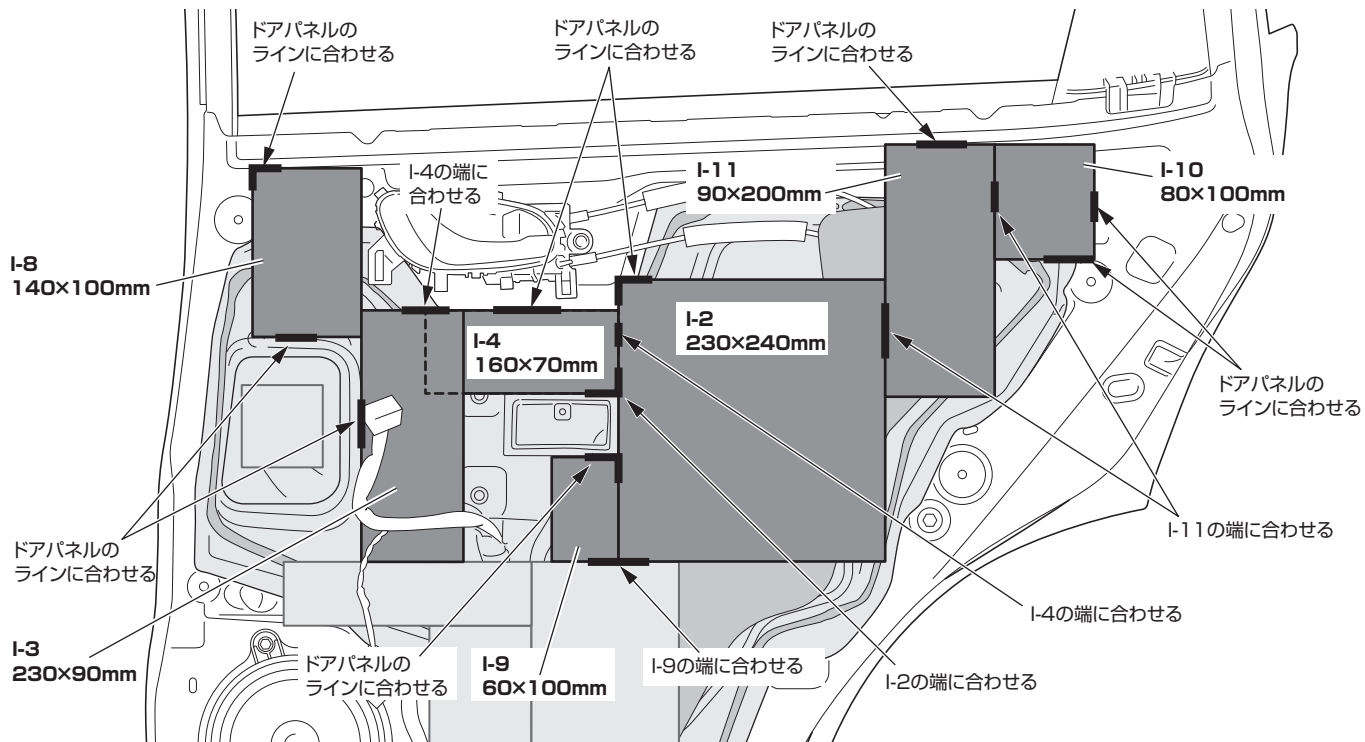
- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサレートには貼り付けないでください。



Memo

- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。

※ I-4 から貼り始めてください。(位置決めがしやすくなるため)

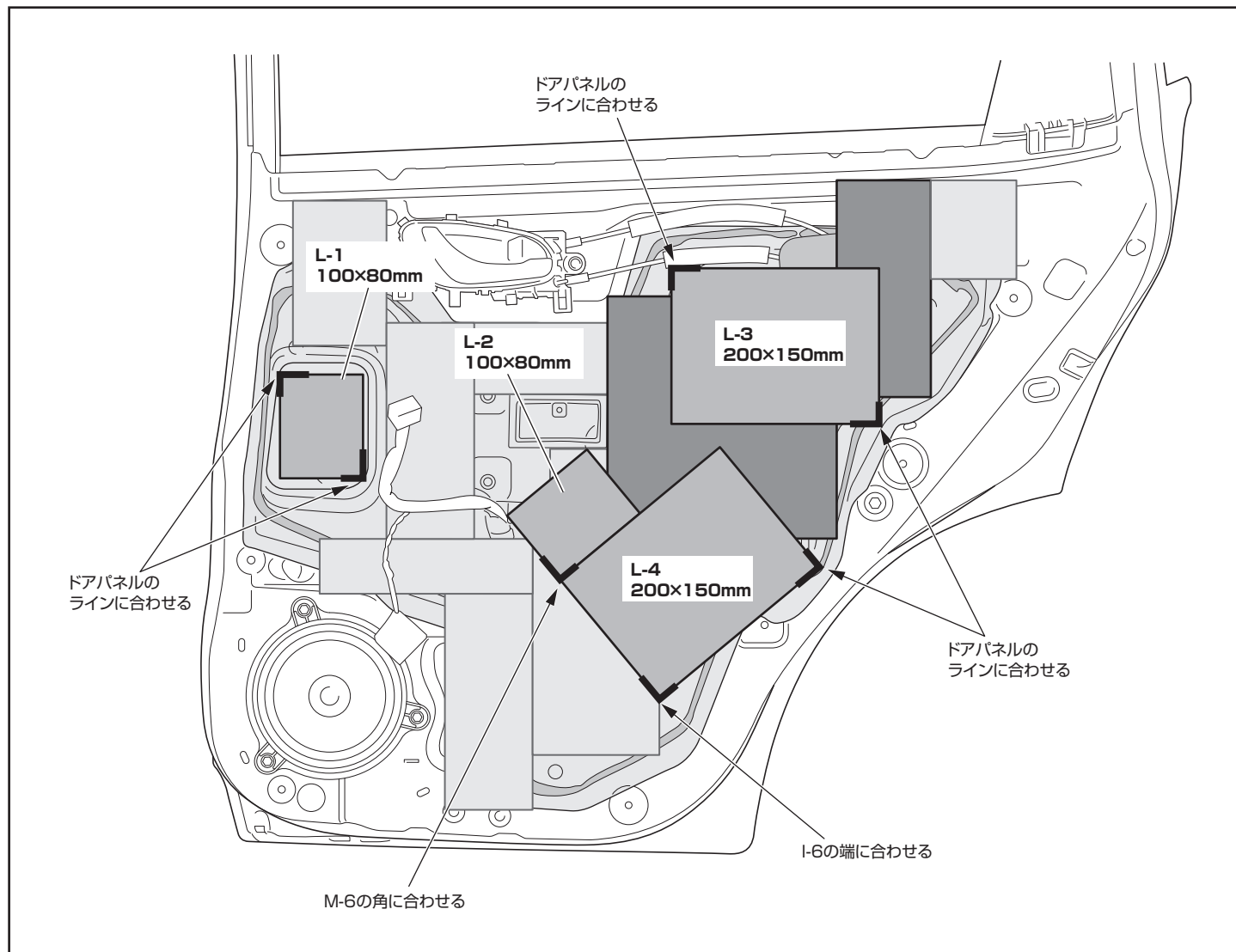


4. 下図を参照してリアドアパネルRHに②吸音シートを貼り付けます。



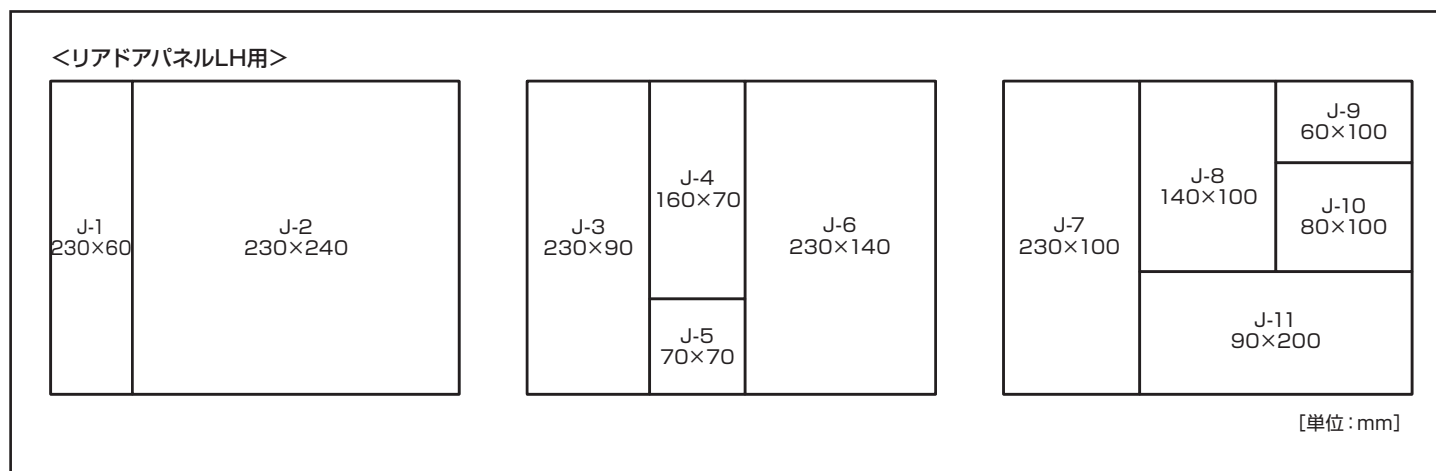
注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ②吸音シートは貼り付け面にしっかり密着させてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。

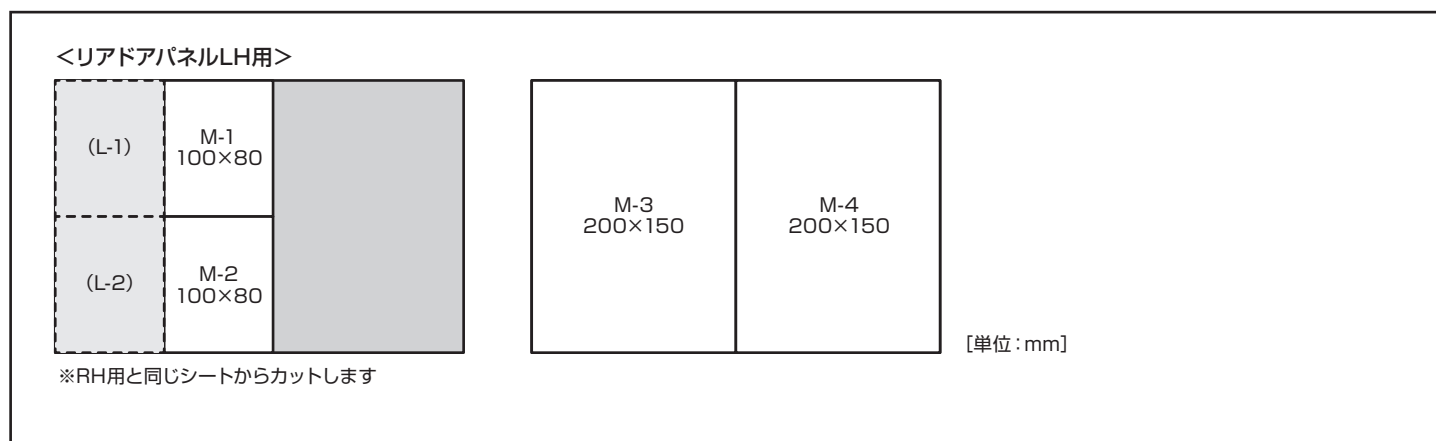


■リアドアパネルLHへの貼り付け

1. ①静粛性向上シートを下图に従ってカットして、リアドアパネルLH用の①静粛性向上シートを準備します。



2. ②吸音シートを下图に従ってカットして、リアドアパネルLH用の②吸音シートを準備します。



3. 下図を参照してリアドアパネルLHに①静粛性向上シートを貼り付けます。

※車両の年式、仕様によって形状が異なる場合がありますが、同様に作業を行ってください。



注意

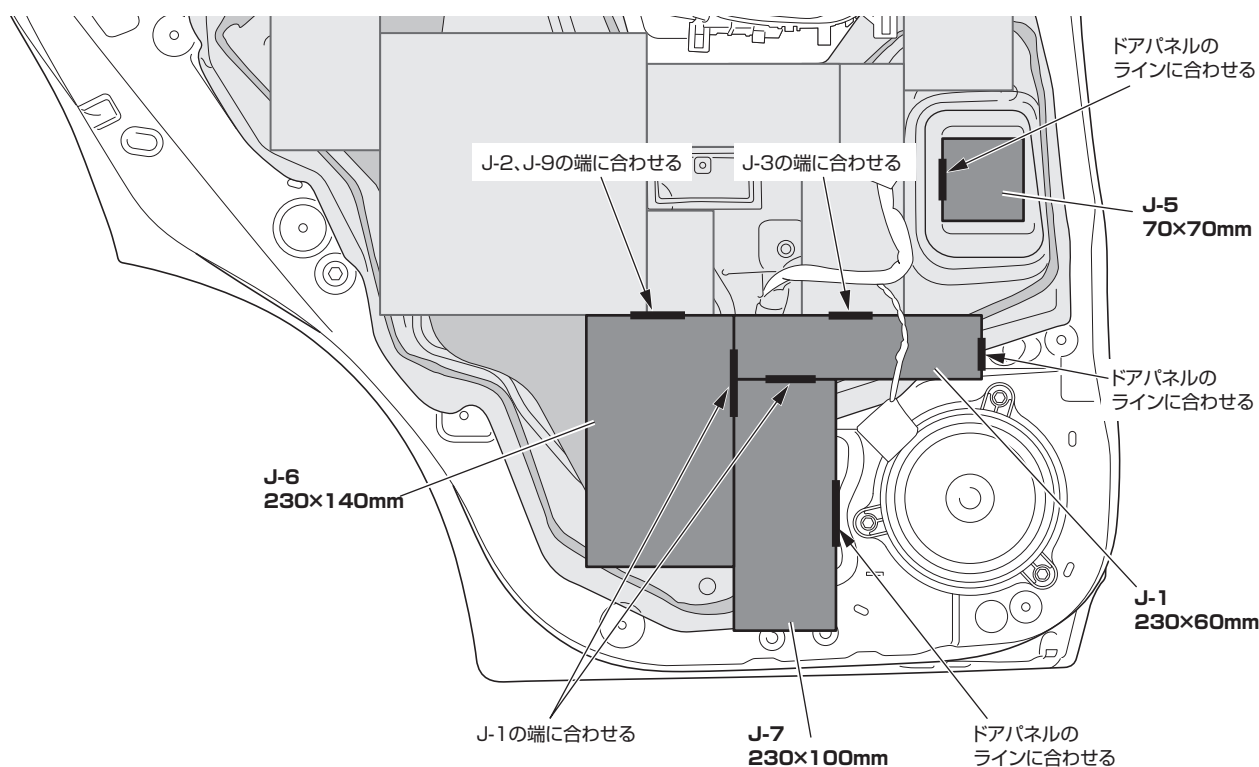
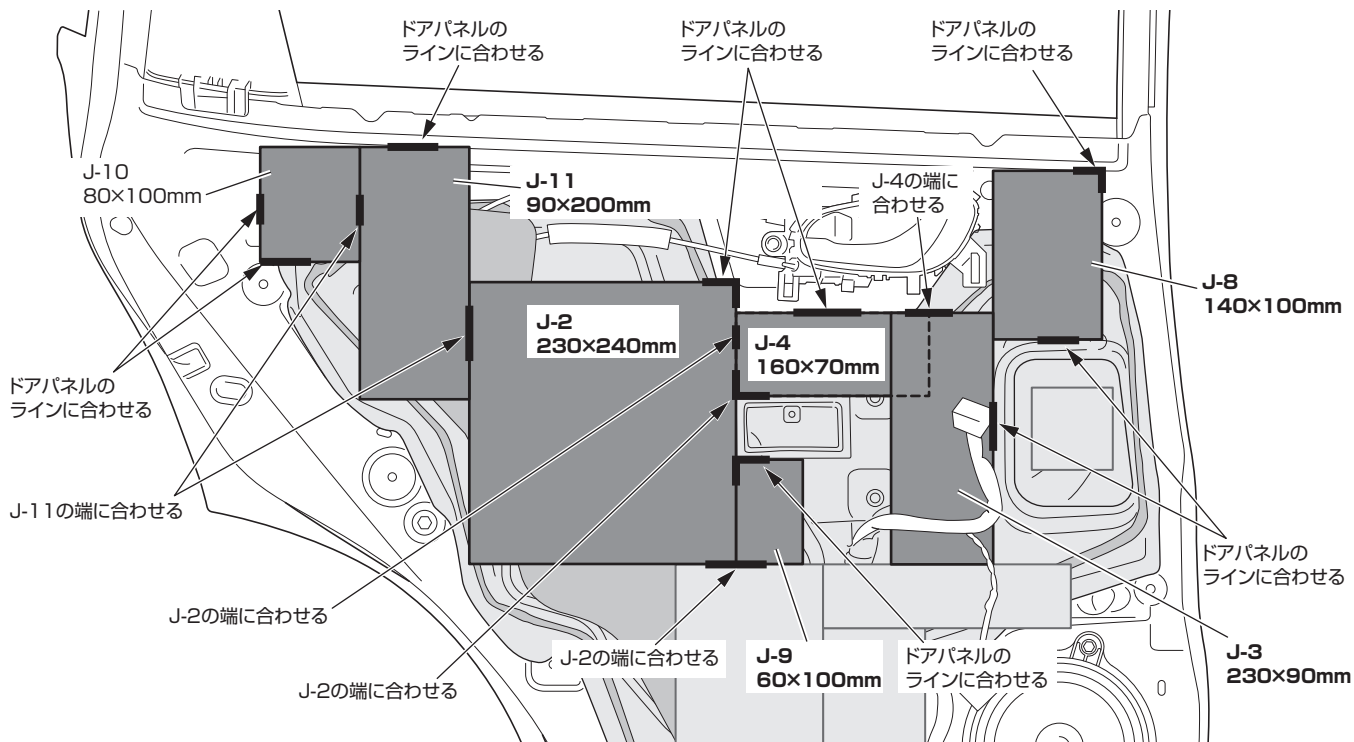
- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ①静粛性向上シートは貼り付け面にしっかり密着させて、浮きがないようにしてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。
- クリップ穴やワイヤー部、シンサレートには貼り付けないでください。



Memo

- 下図の貼り付け位置は概ねの位置として貼り付けてください。
- ①静粛性向上シートは重なっても問題ありません。

※ J-4 から貼り始めてください。(位置決めがしやすくなるため)

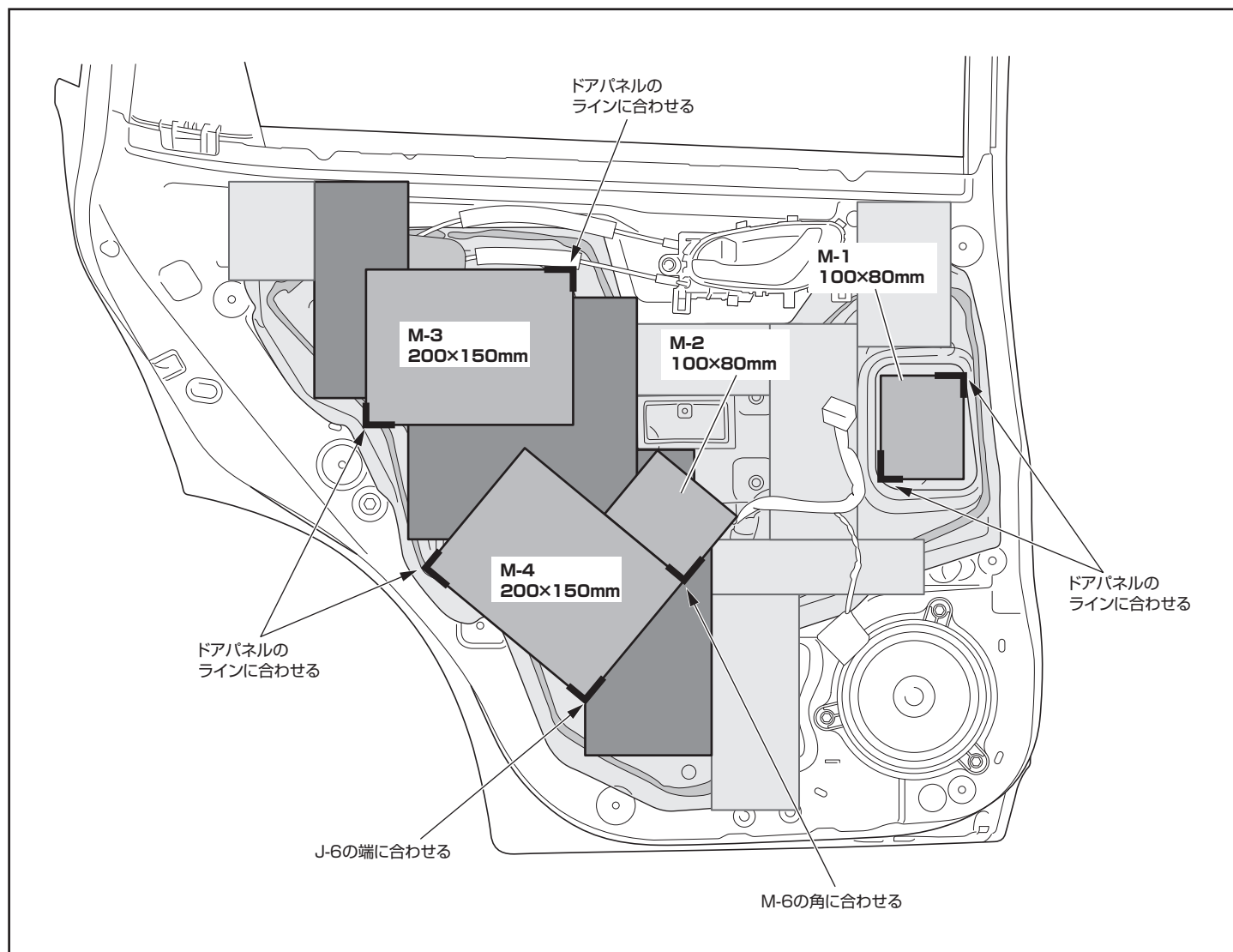


4. 下図を参照してリアドアパネルLHに②吸音シートを貼り付けます。



注意

- 貼り付け面の油分や汚れ等を中性洗剤等で完全に除去し、除去後は水分をよく拭き取ってください。油分や汚れ等が残っていると、貼り付け後にはがれるおそれがあります。
- シーリングスクリーンははがさずに作業を行ってください。
- ②吸音シートは貼り付け面にしっかり密着させてください。軽く貼り付けるとはがれ落ちるおそれがあります。



3. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 車両の電装部品が正常に作動することを確認します。



注意

必要に応じて車両電装部品の補正および初期設定を必ず行ってください。

(令和4年7月現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL: 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(携帯電話・PHS: 20秒10円)

一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号をご利用ください。

TEL: 03-6704-4926

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。



<FAXでのお問い合わせ>
FAX: 045-522-8700

<LINEでのお問い合わせ>

「友だち追加」から友だち追加できます。
※LINEアカウントをお持ちでない場合には、LINE会員登録が必要になります。



- 電話受付時間 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日を除く)
月曜～金曜日 9:30～17:30

- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

修理ご相談窓口

●アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター

担当エリア	北海道/青森/岩手/秋田/山形/宮城/福島/栃木/茨城/群馬/東京/神奈川/埼玉/千葉/新潟/長野/山梨
営業時間	048-664-9711 受付時間: 月～金曜日 9:30～17:30 (日曜・祝日・弊社休業日を除く)
所在地	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2

●アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター

担当エリア	静岡/愛知/岐阜/三重/福井/富山/石川/滋賀/京都/大阪/和歌山/奈良/兵庫/岡山/島根/鳥取/広島/山口/香川/愛媛/徳島/高知/福岡/佐賀/大分/熊本/長崎/宮崎/鹿児島/沖縄
営業時間	06-6386-4130 受付時間: 月～金曜日 9:30～17:30 (日曜・祝日・弊社休業日を除く)
所在地	〒564-0044 大阪府吹田市南金田1-5-7